

## 9

「宇治の橋姫」の変容

## 謡曲『江口』他

番号	所属	氏名	年・月・日
			・
			・

## 課題一

①能は謡（歌）と舞によって物語が進行する歌舞劇です。節（メロデー）のつかない台詞の部分も独特の抑揚をつけて語られます。そのことをふまえ、謡曲『江口』の引用部分を音読し、特に、詞章に〈上歌〉〈下歌〉と記されている小段に注意し、詞章のリズムについて気づいたことを挙げてみましょう。〈上歌〉とは、高い調子の音階からはじまり低い音階で終わる謡の小段、〈下歌〉は低い下の音階で歌う小段です。

## 課題二

②の前半部分で、七日間籠もって貴船大明神の示現（しげん）を得た女が実践した、鬼になる方法を、順を追って現代語で書き出してみましよう。

## 課題三

③の中に挙げられている『伊勢物語』の歌「さむしろに衣かたしき今夜もや恋しき人にあはでのみ寝ん」の下句「恋しき人にあはでのみ寝ん」を品詞分解し、それぞれを文法的に説明してみましょう。

例、恋しき 人 に （形容詞シク活用連体形）